

平成 31 年度第 1 回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	平成 31 年 4 月 26 日（金）午後 2 時 30 分から午後 3 時 10 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 庁議室		
出席者	委員長	西谷副市長	
	委員	萬谷法令遵守監察監 吉村総務部長 梅森観光経済部長 荻田都市整備部長 木村建設部長 中西教育部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	担当課	秘書広報課
議題 又は 案件	1 奈良市ホームページ構築業務委託について		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>担当課 現在の i-City Portal というシステムを導入して 10 年目になります。これをこのまま使い続けるには難しいためリニューアルを考えています。現行のホームページの課題としては、大きく三点あります。一つ目は、世の中の情勢が変わり、スマートフォンでの閲覧数が非常に多くなっており、それに続きタブレットでの閲覧、パソコンでの視聴も多くみられる現状があります。こういったいろいろな媒体を使つての閲覧環境が複数現れてきたのが 9 年前に比べて異なっている現状です。二つ目は、災害時の表示についてです。災害時は同時に沢山のアクセスが集中することでシステムが耐えられない場合があります。そこで、災害時に本来の機能を縮小化して災害専用のホームページに切り替える機能があります。その機能を持った自治体のホームページが多くなっている中で、本市においてはその機能を装備していないという現状があります。三つ目の課題としてより見やすいサイトになっているかという点があります。例えば、各ページの作り方が、同じ担当者がずっと継続して更新していければ良いのですが、担当者が変わり、統一された更新がされていない状態です。また、奈良市の重要な事業をどう強調したものにするかについてもプロポーザルでの提案を受けたいと考えております。実際にはどんなページかと言いますと、レコメンド機能を考えています。レコメンド機能とは、あるホームページを閲覧したときに、このページを見た方は、他のこういったページもご覧になっていますと、おすすめを表示する機能のことで、この機能により類似する行政サービスを同時に受けられるような報告もあり、こういった仕組みを一部自治体で採用しています。またレコメンド機能だけにかかわ</p>			

らず、何らか見てもらう方がたどり着きやすいようなホームページの仕組みを各社からご提案頂いて検討していきたいと考えております。先ほど一つ目の課題でありました、モバイルでの閲覧が増えている状況に併せて、画面の横幅に応じて表示が切り替わるというレスポンス対応を取り入れたサイトを考えています。また、アクセシビリティの観点では、視覚障害の方でありますとか、いろいろな閲覧者のいらっしゃる状況に対して適切に表示できる仕組みを徹底していけないかということで、その仕組みというものを導入していきたいと考えています。最後になりますが、トップページのブランドイメージを一新するということを考えています。オリジナルのデザインを施すなど奈良市らしさがトップページからも伝わる、また各ページ共通してブランドイメージが伝えられるようなホームページの仕組みを導入していきたいと考えています。報告は以上になります。

事務局 スケジュールはどうなっていますか。

担当課 スケジュールは6月に事業者決定、7月に契約と考えています。現在のホームページのデータ移行に3か月程度、その後運用テスト、職員研修を経て、2月に公式オープンを予定しています。

委員 前回一社しか来ていないですが、こういった案件はあまりこないのですか。

担当課 参加する旨の表明は、前回3社あったのですが、価格の面で折り合いがつかず、最終的には1社になりました。元々のシステム会社が有利に働いたというところが前はありました。今回はデータ移行等について、その点を配慮した仕様書にしようと考えています。

委員 他の役所もホームページのリニューアルはプロポーザルで行っていますか。

担当課 はい、ホームページのリニューアルはほぼプロポーザルで行っています。

事務局 業者さんはどんな業者さんが考えられますか。

担当課 現在5社ほど積極的に営業活動していただいているところがありまして、各社、自治体への導入実績があるということです。オリジナル若しくはどこかを連れてくる形にはなるのですが、CMSのシステムを持っている会社が来て下さるということです。

委員長 プロポーザル方式が駄目という根拠がない。この件について異議無ければプロポーザル方式の採用ということでよろしいですか。

各委員 はい。

事務局 では、本案件は適ということで結論頂きました。ありがとうございました。

【資料】第1回奈良市ホームページ構築事業者選定委員会資料
奈良市ホームページ構築業務委託仕様書（案）

平成 31 年度第 1 回奈良市プロポーザル方式採否審査会会議録

開催日時	平成 31 年 4 月 26 日（水）午後 3 時 10 分から午後 3 時 35 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 庁議室		
出席者	委員長	西谷副市長	
	委員	萬谷法令遵守監察監、吉村総務部長、梅森観光経済部長、荻田整備部長、木村建設部長、中西教育部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	担当課	住宅課
議題 又は 案件	1 奈良市空き家総合窓口業務委託について		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
住宅課	<p>近年、全国的に空き家の増加が大きな社会問題になっており、本市でも空き家率が 3.6% で増加傾向にあります。奈良市空き家総合窓口委託業務については、空き家に関する相談窓口、セミナーイベント等の企画運営等を、既に平成 28 年度から単年度契約で実施しております。空き家バンク等の活性化について、登録物件の掘り起こし、利用登録者のフォロー、空き家の利活用の方法の周知等の課題は多く見られます。従前業務に加え課題解決についても具体的提案をもらい、空き家対策に関する専門的な知識、提案内容、業務遂行能力等を総合的に勘案して業者を選定し、空き家の利活用・適正管理をして、空き家等の対策関連事業を進めていきたいと考えています。</p>		
委員	何を求めるのですか、プロポーザルで。		
住宅課	<p>地元から情報提供を受けた空き家の利活用のためのマッチングを、複数年で計画的に進めていきたいと思っています。また、市長からも、もう少し地元に入っていくように指示を受けています。長期的な話をするようにも言われていまして、債務負担の時も同様の説明をしましたが、もう少し長いスパンで計画を提案して頂いて、それを採用させて頂いて我々も一緒に地元に入っていきたいと考えます。</p>		
委員	どの業者も提案してこない可能性はありますか。		
住宅課	多分ないと思います。		
委員	この事業は仕様書を作成して、入札で業者決定はできませんか。		
住宅課	<p>今の既存の業務だけを落とし込んだ仕様書は作成できます。ただ、価格だけで大手の住宅メーカー等の方が、安く入れてくると思います。そうなった時に、実際の空き家は流通に載っているような空き家とは違い、その資産価値もほぼないものも有ります。またそれを借りたい方も実際、お金がある方と、そうではない方もいらっしゃいます。その中で、利用者とか消費者への歩み寄りとか、お金</p>		

では出せないような部分があります。年間の費用だけで見られると、クレームなどに繋がるのではないかと懸念しています。

委員 東部等では古い家屋が主な対象になると思いますが、それは一般的な不動産の感覚では、なかなかマッチングもやりにくいので、提案内容から方法を決めたいというのが趣旨です。地元との調整をやりながらしていたら、経費ばかりかかり不動産売れず、儲かりません。それはもう市としてそういった難しいところに入る必要があるという認識でいるので、そういう形での提案型で説明しています。儲からないのはその通りなので、物件の売却利益を求める不動産業者が入ってくると、本当にこの事業うまくいくのかが気になります。

委員 空き家率3.6%ってこんなに低いのですか。

住宅課 実態調査は、戸建て住宅の空き家だけを対象としていますので、アパート等を含めると、十何%に増えます。ただ密集率が違うので、東部では密集率が低く、1軒空き家があると、空き家率が上がります。逆に地元の人にもっとしっかり考えなくてはならない問題だと、僕らが言う立場ではあると思います。

事務局 審査委員会の委員は、どんな分野の方ですか。

住宅課 奈良女子大の先生と、ならドットFMの代表取締役と、南都銀行の地域活性化事業の担当者、東部振興監等を考えております。

委員 プロポーザルの内容に、空き家の実態調査入ってないですね。

住宅課 実態調査は、入札で行う予定で、別途、仕様書を書いています。

事務局 相談会、企画運営等の基本的部分で、350万の予算で足りますか。

住宅課 右肩上がりで件数が増えてきていますので、厳しくなるかもしれません。ただ、最初は件数が少なかったなのでその予算になっています。

事務局 参加要件の中で県内又は近隣県に本社または営業所を有することとする理由は何ですか。

住宅課 空き家バンクは現地での物件調査等や、人気のある物件については内覧希望者の対応があるので、遠方だと厳しいのでこの条件を設定したいと考えています。

住宅課 業者が売買で利益を出そうというプロセスで、市中の不動産業者が、儲かるところだけ手つけて、その他が置いて行かれるということがないように提案内容をどう採否していくのか重要になると考えています。

事務局 プレゼンテーションの上手な業者が有利にならないように、審査委員会で意見を十分につめておく必要があります。

委員 通常の取引と違い、地域との関わりや丁寧なマッチングを求めているという奈良市のスタンスを資料や仕様書に記載した方が審査委員や業者が分かってよいと思います。東部の家屋を残し利活用するのが、もともとのコンセプトなので。

委員長 確かに、もう少しつめてもらった方がよいと思います。その中で方向性としては、プロポーザル方式でやってもらうということによろしいですか。

各委員 はい。

【資料】奈良市空き家総合窓口業務委託に係るプロポーザル方式実施要項(案)

平成31年度第1回奈良市プロポーザル採否審査会会議録			
開催日時	平成31年4月26日（金）午後3時40分から午後4時30分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5階 庁議室		
出席者	委員長	西谷副市長	
	委員	萬谷法令遵守監察監 吉村総務部長 梅森観光経済部長 荻田都市整備部長 木村建設部長 中西教育部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	担当課	中央図書館
議題 又は 案件	1 奈良市図書館システム構築事業業務委託について		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
担当課	図書館のシステムは30年前の仕様が基本となっており、利用者が来館して紙ベースで資料・本を貸し出すのが前提となっています。インターネット等の普及に伴い、新着やお勧めの本をレファレンス機能として利用者に提供するような検索機能システムや、マイページのようなところで、自分が読んだ本の管理や、これから読みたい本の整理が出来る仮想本棚のような試みができるシステムを構築したいと考えております。現行のシステムが5年の長期契約を結んでおり、この12月の更新にあたり、よりよい機能の強化などの提案をしてもらいたいということで、今回プロポーザルを考えています。		
事務局	公募型プロポーザルのスケジュールをお願いします。		
担当課	5月中旬に第1回目の審査委員会を開催したいと考えています。その中で5月中旬にプロポーザルの募集要項等をホームページ等で掲載し、申込書の提出期間は5月中旬から5月末まで、提案書締切りは6月14日、それに基づき第1次の評価審査6月20日、次の第2回目のプロポーザル審査委員会6月下旬を行い、結果発送後すぐ下旬に契約を結んで、7月上旬からシステム構築を開始したいと考えています。		
委員	このシステム構築の予算の状況はどのようになっていますか。		
担当課	現行のシステムの予算内で月額2,173,500円、年額26,082,000円です。現行のシステムは12月までなので、年末年始にシステム入れ替える等で、来年1月から新しく運用という形を考えております。		
事務局	保守料は入っていないのですか。		
担当課	これは全部込みです。		

委員 先ほどの説明で仮想本棚等の説明がありましたが、それはどこの公立図書館でも同じ一緒だと思うのですが、パッケージはないのですか。

担当課 基本的なパッケージがあります。今回提案を頂きたいのは、基本部分のパッケージには含まれていない要素になります。先ほど申し上げた部分については、より高度な図書館の利用サービスに繋がる部分です。

委員 資料の図書館システム構築事業業務委託仕様書がここまでしっかり書けているのであれば、この仕様で入札ができるのではありませんか。

担当課 例えば、既に貼っている I C タグを有効に機能させる提案や、ホームページ等を含めた外部発信機能等も含めた提案もいただきたいと思います。

委員 この仕様書に新しい提案部分が欲しいということですね。

担当課 そうです。

委員 色々な項目を追加しようとしています、予算内でできますか。そのへんの見込みはどうですか。

担当課 色々な企業から情報収集してしまして、基本部分は担保した上で、仮想棚の追加等の全ては難しいかもしれませんが、そのような提案をいただける可能性十分にあります。

委員 本の管理は当然ですが、他にも色々なオプションの提案をしてくると思います。金額で縛り、その金額以内での提案を求めると思います。

事務局 現行のシステムに比べて、付加価値を加える提案を受けるのに、値段が同額というわけだから、データの移行作業費等を考えると、現行システムの業者が有利になってしまいます。

委員 データの移行にどれくらいの費用がかかるのかを調べた方がよいと思います。オプションの話も含めて提案してもらわないと同じ業者になります。

委員長 実施要領の予算計上額は事務機器借上料ですね。開発部分は入っていませんね。

担当課 メーカーのパッケージを使って、現行のシステムを有効活用してくれる提案求めます。更にオプションが可能であれば予算内でもらいます。

委員 現行のシステムを使うのですか。

担当課 既存のシステムはウィンドウズ7を使用していたり、元号対応できていなかったりという状況もあって、サーバー等も含めて更新が必要となっています。

委員 それらは毎年の管理・運営の中で、対応してもらえないのですか。

担当課 システムを単に管理だけでいってしまうと、現行のシステム会社が有利になります。その中で、軽微なシステム改修でも費用を要求されます。それと、現行システムは外部発信機能、特に携帯用のホームページの更新が思うようにいかない状況です。こういった状況もあって現行のシステム会社とは違う業者からもいい提案を頂きたいということです。

委員 この案件は、本当に入札はできませんか。説明を聞くと方向性が定まっているように思っているのですが、それを仕様書に入れれば入札が出来ると思います。

担当課 新しい情報をなるべく仕入れようとしています、常に全ての新しい情報を持っているわけではないので、多くの公共図書館に関わり、情報を持っている

	ベンダーの提案を頂きたいと思っています。
委員	システムを作っていく中で、業者と話しながら仕様を作っていくという方法もあります。業者に各システム等に聞いたら、様々なことを沢山教えてくれます。その中から選択して、設計書に反映して仕様書を作っていく。現行の仕様書があって、金額が出ているのであったら、それにプラスアルファの部分を、何者か見積りをとっていけるのかなという気もします。
委員	そのようにやるには、どこか一つの業者に絞らないといけない。4つから聞き取りをして、ここが良いなと思ったら、そこその価格でいけるかという調整をしながら、そこに仕様書を作ってもらわなければならない。
委員長	仕様書の作成は難しいかもしれませんが、提案を上げている機能を全て追加していくことは出来ないので、どこまで抑えるかという程度を決めておく必要があります。
担当課	予算額の範疇で納めてもらいたいと思います。
委員	オプションも予めどこまで追加するかを先に決めておかないと。
委員長	それでは、新元号対応として、求めていくオプションの内容と上限金額をはっきりさせること、想定される追加内容に対応できるということで入札よりもプロポーザルでいく方が良いということで適ということでよろしいですか。
各委員	はい。
事務局	では審査会を終了いたします。
	【資料】 奈良市図書館システム構築事業業務委託 公募型プロポーザル実施要領（案）